



2024年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月8日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所

東

コード番号 7730 URL <https://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 齊藤 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役副社長 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 2024年4月12日

配当支払開始予定日

2024年5月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 2024年4月9日に開示予定

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第2四半期の連結業績(2023年9月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第2四半期	13,908	15.7	4,197	21.5	4,551	29.6	3,191	24.5
2023年8月期第2四半期	12,025	24.6	3,453	12.1	3,512	3.6	2,563	9.9

(注)包括利益 2024年8月期第2四半期 3,834百万円 (60.1%) 2023年8月期第2四半期 2,394百万円 (19.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第2四半期	32.41	
2023年8月期第2四半期	26.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第2四半期	56,177	51,593	91.8
2023年8月期	54,977	49,827	90.6

(参考)自己資本 2024年8月期第2四半期 51,593百万円 2023年8月期 49,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年8月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期		14.00		21.00	35.00
2024年8月期(予想)		16.00		23.00	39.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日～2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	12.3	8,250	13.9	8,250	3.2	5,900	0.9	59.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年8月期2Q	106,981,502 株	2023年8月期	106,981,502 株
期末自己株式数	2024年8月期2Q	8,484,536 株	2023年8月期	8,484,510 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年8月期2Q	98,496,973 株	2023年8月期2Q	98,449,957 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入社している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年9月1日～2024年2月29日)においては、中国の不動産市場の停滞に伴う景気減速懸念の高まりや、ロシア・ウクライナ問題の長期化といった地政学リスクの上昇が見られました。欧米諸国においては、各国のインフレ率の鈍化により政策金利引き下げの可能性が高まった一方、国内では継続的な物価上昇を背景に、これまでの金融政策の転換に向けた動きが見られ、世界の金融市場環境に大きな変化の兆しが表れているものと考えられます。ヘルスケア・医療機器産業もこれら外部環境の影響を受けている一方、少子高齢化の進展、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)向上への期待の高まりなど、中長期では事業機会の増加と競争環境の激化が予想されております。

このような環境下、当社グループは、「世界一の品質を世界のすみずみへ」という使命を掲げ、当社グループの製品を世界中に提供し、世界の人々の幸福に貢献することを目指しております。当社グループの更なる成長に向けて、2022年8月期より中期経営計画をスタートし、営業・生産・開発の各機能のグローバル化を進めることでビジネスモデルの変革を行い、企業理念実現のための取り組みを着実に進めております。

中期経営計画の重要施策の観点では、グローバル生産体制の構築を目的として、ドイツの連結子会社MANI MEDICAL GERMANY GmbH(以下、MMG)では2023年9月に新本社・工場へ移転し、生産活動を開始しました。MMGは今後、歯科用修復材¹の生産能力の増強を図り、欧米及びアジアにおける販売拡大を推進してまいります。また、国内では2023年10月よりスマートファクトリーの建設を開始いたしました。今回建設するスマートファクトリーは、新製品の量産技術及び眼科ナイフ等の主要既存製品の次世代の自動化生産ラインの確立とその後の海外展開を見据えた最初の「パイロット工場」として位置付けており、製造の省人化や製品の原価低減を図りながらグローバルでの売上拡大を目指しております。特に、開発重点製品であるNiTiロータリーファイル「JIZAI」²や白内障手術に用いられる眼科ナイフの量産体制構築に向けた準備を進めております³。さらに、既存のベトナム工場を増設し、生産能力増強とBCP強化を図ります。グローバルマーケティングの推進の観点では、デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大のため、2023年9月より新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。デンタル関連製品セグメントの競争力強化及びマーケティング機能強化を2024年8月期の重要課題として設定しております。また、新たな拠点としてマレーシアに設立した販売子会社 MANI MEDICAL DEVICE MALAYSIA SDN. BHD. は2023年11月より本格的に販売活動を開始しました。今後東南アジア地域の新興国をターゲットにデンタル関連製品やサージカル関連製品の積極的な販売・マーケティング活動を展開してまいります。

今後も中期経営計画に基づく成長戦略により、企業価値の向上を目指してまいります。

(脚注)

¹歯の欠損した部分を人工物で埋めることにより歯の形態を回復し、機能性及び審美性を高める治療(歯冠修復治療、審美歯科治療)に使用される樹脂材料

²歯の歯髄と呼ばれる神経の治療法の1つである根管治療において、根管内の感染源除去に用いられる柔軟性の高いニッケルチタン製の歯科治療機器

³スマートファクトリーへの総投資額は105億円を予定(内訳:工場建設費用84億円、「JIZAI」量産ラインへの投資額11億円、眼科ナイフ量産ラインへの投資額10億円)

当第2四半期連結累計期間における経営成績

主にアジア、北米や欧州を中心とした地域で販売が増加した他、円安による海外売上高の押し上げも加わったことを背景に、売上高は13,908百万円(前年同期比15.7%増)と好調に推移しました。一方、海外子会社における製造原価の上昇等により売上原価は5,213百万円(同7.6%増)、マーケティング活動の強化に伴う販促費の増加及び本社における人件費の増加により販売費及び一般管理費は4,497百万円(同20.6%増)となりましたが、売上高の拡大により、営業利益は4,197百万円(同21.5%増)となりました。営業利益の増益及び為替差益の計上に伴い、経常利益は4,551百万円(同29.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,191百万円(同24.5%増)となり、前年同期から増益幅が拡大いたしました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりです。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

	売上高		セグメント利益(営業利益)	
	百万円	前年同期比	百万円	前年同期比
サージカル関連製品	3,786	19.0%	1,244	35.7%
アイレス針関連製品	4,974	19.7%	1,912	49.3%
デンタル関連製品	5,147	9.8%	1,041	△17.1%
連結合計	13,908	15.7%	4,197	21.5%

(サージカル関連製品)

サージカル関連製品の売上高は3,786百万円（前年同期比19.0%増）、セグメント利益は1,244百万円（同35.7%増）となりました。白内障手術で使用される眼科ナイフの需要が中国を中心としたアジアや欧州等の地域で拡大したことにより、前年同期から増収増益となりました。

(アイレス針関連製品)

アイレス針関連製品の売上高は4,974百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益は1,912百万円（同49.3%増）となりました。製品需要の拡大を背景として、アイレス針の受注が中国を中心としたアジア、北米並びに欧州等の地域で引き続き増加したことにより、前年同期から増収増益となりました。

(デンタル関連製品)

デンタル関連製品の売上高は5,147百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント利益は1,041百万円（同17.1%減）となりました。中国、インドを中心としたアジア地域における歯科用回転切削機器（ダイヤモンド）及び歯科用根管治療機器（リーマ・ファイル）等の販売が好調に推移しました。また、前四半期にドイツの連結子会社MMGの新社・工場にて生じた生産遅延が解消され、生産活動が通常水準に回復したことで、歯科用修復材を中心とするMMG製品の販売は前四半期より増加傾向にあります。他方、積極的なマーケティング活動の実施に伴う販売費及び一般管理費の増加により、セグメント利益は減益となりました。なお、2024年8月期よりセグメント別の販売費及び一般管理費の配分方法を変更しており、当該変更により販売費及び一般管理費は前年同期より111百万円増加しております。詳細は後述の「補足：セグメント利益の算出方法の変更」をご参照ください。

※ご参考：為替レート

	前連結会計年度（2023年8月期）				当連結会計年度（2024年8月期）			
	第1 四半期 連結累計 期間	第2 四半期 連結累計 期間	第3 四半期 連結累計 期間	第4 四半期 連結累計 期間	第1 四半期 連結累計 期間	第2 四半期 連結累計 期間	第3 四半期 連結累計 期間	第4 四半期 連結累計 期間
米ドル/円 (USD/円)	144.26	138.50	137.31	138.60	149.10	147.92	-	-
ユーロ/円 (EUR/円)	143.93	142.94	144.04	146.95	159.30	159.38	-	-
人民元/円 (RMB/円)	20.22	19.77	19.67	19.69	20.47	20.45	-	-
インドルピー ー/円 (INR/円)	1.78	1.70	1.68	1.69	1.79	1.78	-	-
マレーシア リンギッ ト/円 (MYR/円)	-	-	-	-	30.63	31.35	-	-

補足：セグメント利益の算出方法の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。変更の理由及び影響額については下記のとおりです。

変更の理由

デンタル関連製品の更なる市場シェア及び売上拡大を2024年8月期の重点施策として掲げており、2023年9月に新たな組織として「デンタル事業本部」を設置し活動を開始しました。これに伴い、デンタル関連製品セグメントで多くの販売費及び一般管理費の負担が発生する実態をより適切に各セグメントの業績に反映する必要が生じたため、セグメント利益の算出方法（セグメント別の販売費及び一般管理費の計算方法）を新たに変更するものです。

セグメント利益への影響額

(単位：百万円)

	A	B	C	C-A	B-A
	前第2四半期 連結累計期間 (変更前)	前第2四半期 連結累計期間 (変更後)	当第2四半期 連結累計期間 (変更後)	増減額	うち、 影響額
サージカル関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	917 (1,035)	890 (1,061)	1,244 (1,293)	326 (258)	△26 (26)
アイレス針関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	1,281 (1,150)	1,418 (1,012)	1,912 (1,259)	631 (108)	137 (△137)
デンタル関連製品 セグメント利益 (販売費及び一般管理費)	1,255 (1,542)	1,144 (1,653)	1,041 (1,944)	△214 (401)	△111 (111)
セグメント利益合計 (販売費及び一般管理費合計)	3,453 (3,728)	3,453 (3,728)	4,197 (4,497)	743 (768)	- (-)

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明

①財政状態の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (2024年2月29日)	増減額
総資産	54,977	56,177	1,200
流動資産	34,994	33,122	△1,872
固定資産	19,982	23,054	3,072
負債	5,149	4,583	△566
純資産	49,827	51,593	1,766

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,200百万円増加し、56,177百万円となりました。これは、固定資産3,072百万円の増加（主に当第2四半期連結累計期間に実施したスマートファクトリー関連投資2,827百万円による増加）、流動資産1,872百万円の減少（主に設備投資や配当に伴う現金及び預金1,903百万円の減少）によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ566百万円減少し、4,583百万円となりました。これは主に、未払金及び賞与引当金等の減少により流動負債が586百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,766百万円増加し、51,593百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したほか、円安進行に伴い為替換算調整勘定が増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,838	3,625	△5.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,643	△3,088	16.8%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,826	△2,097	14.8%
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	439	—
現金及び現金同等物の期首残高	22,084	23,798	7.8%
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,358	22,677	6.2%

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,625百万円（前年同期比 5.5%減）のキャッシュ・イン・フローとなりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加に伴い営業キャッシュ・イン・フローが増加した一方、法人税等の支払や未払金の支払に伴い営業キャッシュ・アウト・フローが増加したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,088百万円（前年同期比 16.8%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、スマートファクトリーに関連する有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,097百万円（前年同期比 14.8%増）のキャッシュ・アウト・フローとなりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりです。通期の連結業績予想につきましては、2023年10月12日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に現時点で変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,427	23,523
受取手形	262	173
売掛金	2,073	2,301
有価証券	—	18
商品及び製品	796	816
仕掛品	3,430	3,422
原材料及び貯蔵品	2,193	2,297
その他	823	582
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	34,994	33,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,393	7,458
機械装置及び運搬具（純額）	4,370	4,333
土地	4,424	4,436
その他（純額）	4,264	4,437
有形固定資産合計	17,453	20,667
無形固定資産		
ソフトウェア	707	669
その他	535	598
無形固定資産合計	1,243	1,267
投資その他の資産		
投資有価証券	332	306
繰延税金資産	631	483
保険積立金	194	195
その他	127	134
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,285	1,120
固定資産合計	19,982	23,054
資産合計	54,977	56,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159	175
未払金	1,047	671
リース債務	41	29
未払法人税等	1,186	1,243
賞与引当金	798	622
その他	986	888
流動負債合計	4,218	3,631
固定負債		
リース債務	17	21
退職給付に係る負債	598	600
資産除去債務	223	236
その他	91	92
固定負債合計	931	951
負債合計	5,149	4,583
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066	1,066
資本剰余金	1,113	1,113
利益剰余金	45,482	46,605
自己株式	△3,125	△3,125
株主資本合計	44,536	45,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	12
為替換算調整勘定	5,251	5,895
退職給付に係る調整累計額	21	24
その他の包括利益累計額合計	5,290	5,933
純資産合計	49,827	51,593
負債純資産合計	54,977	56,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
売上高	12,025	13,908
売上原価	4,843	5,213
売上総利益	7,182	8,694
販売費及び一般管理費	3,728	4,497
営業利益	3,453	4,197
営業外収益		
受取利息	64	115
投資事業組合運用益	1	1
為替差益	—	210
その他	28	44
営業外収益合計	95	371
営業外費用		
支払利息	1	0
シンジケートローン手数料	1	—
未稼働用地関連費用	20	12
為替差損	12	—
その他	1	4
営業外費用合計	36	18
経常利益	3,512	4,551
特別利益		
固定資産売却益	4	2
受取賠償金	60	—
特別利益合計	64	2
特別損失		
固定資産除却損	8	3
訴訟関連費用	0	—
特別損失合計	9	3
税金等調整前四半期純利益	3,568	4,550
法人税、住民税及び事業税	1,019	1,209
法人税等調整額	△14	149
法人税等合計	1,004	1,358
四半期純利益	2,563	3,191
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,563	3,191

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益	2,563	3,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△4
為替換算調整勘定	△166	644
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	△168	642
四半期包括利益	2,394	3,834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,394	3,834

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,568	4,550
減価償却費	950	1,113
受取賠償金	△60	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	78	△183
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△59
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44	4
受取利息及び受取配当金	△64	△115
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1	△1
支払利息	1	0
為替差損益 (△は益)	59	△270
シンジケートローン手数料	1	—
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△2
固定資産除却損	8	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△204	△122
棚卸資産の増減額 (△は増加)	515	8
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9	208
仕入債務の増減額 (△は減少)	42	15
未払金の増減額 (△は減少)	△19	△426
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△132	△109
その他	38	39
小計	4,832	4,655
利息及び配当金の受取額	63	127
利息の支払額	△1	△0
賠償金の受取額	60	—
法人税等の支払額	△1,115	△1,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,838	3,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,393	△438
定期預金の払戻による収入	—	1,251
有価証券の売却及び償還による収入	600	—
有形固定資産の取得による支出	△1,814	△3,803
有形固定資産の売却による収入	7	7
無形固定資産の取得による支出	△47	△108
投資事業組合分配金による収入	5	2
保険積立金の積立による支出	△1	△1
その他	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,643	△3,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△53	△29
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,771	△2,068
シンジケートローン手数料の支払額	△2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,826	△2,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	439
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△725	△1,120
現金及び現金同等物の期首残高	22,084	23,798
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,358	22,677

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,182	4,154	4,688	12,025	-	12,025
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	1	-	1	△1	-
計	3,182	4,155	4,688	12,026	△1	12,025
セグメント利益	917	1,281	1,255	3,453	-	3,453

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	3,786	4,974	5,147	13,908	-	13,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	0	-	0	△0	-
計	3,786	4,974	5,147	13,908	△0	13,908
セグメント利益	1,244	1,912	1,041	4,197	-	4,197

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント利益の算出方法の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間期首よりセグメント利益の算出方法を変更しております。変更の理由及び影響額については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明 補足:セグメント利益の算出方法の変更」をご参照ください。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。